



# 9月園だより

2020年9月  
尚徳福祉会  
沼袋西保育園  
園長

## 男の子・女の子



主婦の友社 0才～3才 個性を伸ばす 能力を育てる  
汐見 稔幸 氏

コロナの感染が広がりを見せ、予断の許さない状況が続いております。そんな中、子どもたちは毎日、本当に元気に遊んでおります。例年でしたら毎日のように行っていたプール遊びに代わり、色水あそび、泥んこあそび、寒天あそび、片栗粉あそび、泡あそび、洗濯ごっこ、ボディーパーキング、ウォータークッション、スライム等々、様々な感覚あそびを行っております。子どもたちの賑やかな歓声が聞こえることもありますが、多くの場合、ほとんど声が聞こえてきません。とっても静かです。子どもたちが遊びに夢中になり没頭している時は、とても静かです。給食のギリギリまでずっと感覚を楽しんでいる子もおります。

コロナ禍で、「〇〇ができない」「〇〇ができないから△だ」と気持ちがマイナスに向きがちですが、こんな状況下でも子どもたちは最大限楽しんでます。マイナスをプラスに変える、そんな子どもたちの前向きな姿に、未来はきっと輝かしい！！と勇気と元気をもらいます。今月も引き続きのご協力、どうぞよろしく願いいたします。



### ☆9月の予定☆

- 1日(火) 引き渡し訓練
  - 2日(水) 幼児身体計測
  - 3日(木) 乳児身体計測
  - 8日(火) 運動会総練習
  - 10日(木) 0歳児健診
  - 16日(水) 運動会総練習
  - 24日(木) 0歳児健診
  - 26日(土) 運動会
- ※7日・14日・28日の各月曜日、英語であそぼう

### ☆10月の主な予定☆

- 1日(木) 避難訓練
  - 2日(金) 3歳遠足
  - 3日(土) 運動会(9/26雨天時)
  - 6日(火) 幼児身体計測
  - 7日(水) 乳児身体計測
  - 8日(木) 秋の健康診断(幼児クラス)
  - 9日(金) 4・5歳芋ほり遠足
  - 22日(木) 秋の健康診断(乳児クラス)
- ※5日・12日・19日の各月曜日、英語であそぼう

### ☆お知らせ・お願い☆

〇引き渡し訓練への参加のご協力ありがとうございます。いつ起こるかかわからない災害に備え、備蓄品や避難所までのルートも確認しておきましょう。本日1日、災害用伝言ダイヤル(171)にて利用体験が可能です。24時まで音声確認を行えます。この機会にぜひ、利用方法の確認をお願いいたします。

〇日頃から感染予防にご協力いただき、誠にありがとうございます。しばらくこのような生活が引き続きそうです。そして運動会を今月末に控えております。引き続き、マスクの着用、手指消毒、検温、体調管理、園内滞在時間の短縮等、ご協力をお願いいたします。

〇PayPay・AirPayにて延長保育・利用料等お支払い予定の方は10日までに園からの「請求ご案内」をお持ちの上、事務所にお声掛けいただきますようお願いいたします。事務員、園長、主任のみの対応となります。又、次回分の支払い方法の変更は月末までに事務所までお知らせ下さい。

〇26日(土)は運動会～親子であそぼう～を予定しております。昨年に引き続き、乳児組の参加を見合わせることもとなり、大変申し訳ございません。コロナにより、形式を変更して行います。幼児組各クラスへのプログラムは後日、お配りいたします。

〇引き続き、区のコロナウイルス感染症対応マニュアルに沿って対応して参ります。ご家庭においても引き続き感染防止のご協力をお願いいたします。

### 生まれつきの性差はあるのか

男の子と女の子の両方を育てたお母さんは、同じように育てたのに、ずいぶん差があるといいます。男の子のほうが育てにくいという声もよく耳にしますが、ほんとうでしょうか。

大きくなってからの男女の思考や得意な分野に差があることは、だれでも認めざるをえないのですが、それが生まれつきのものなのか、しつけの違いなどによる後天的なものなのかは、いろいろと議論されるところです。しかし、男の子と女の子には生まれつき差があると思うべきでしょう。

よく、女の子は育てやすく、男の子は育てにくい、といわれますね。これは、女の子のほうが病気にかかりにくいとか、基本的に丈夫とかいうだけでなく、状況の変化、周囲の環境に対して適応するのが女の子のほうが器用だということも大きいと思います。たとえば発達テストでも、運動発達は別として、言葉やおむつはずし、洋服の着脱や片づけといったようなことは、平均的にいって女の子のほうが早いようです。

反対に、男の子は状況とは関係なしにマイペースの行動をとるので、「何を考えているの、もっと周りのことを注意して見なさい」と思わず言いたくなる場面がしばしばあります。同年齢の男の子のほうがかときとして赤ちゃん扱いがありますね。

言葉のことが出ましたが、実際に言葉の力の調査をすると、何才であっても、たとえば理解している語彙の数など女の子のほうが多いという結果が出ます。外国語を学ぶのも女の子のほうが好きで、上達することが多いようです。

一方、数学の力、空間的、理論的思考の面では、何才でも男の子のほうが高い能力を持つという結果を示しています。

つまり、一般的に、言語的思考は女の子のほうが得意だけれど、理論的思考は男の子のほう得意といっているでしょう。もちろん例外は必ずありますが、やはり、男の子と女の子の若干の違いが、大脳の中にすでにあるのかもしれない。

### 差はどんなふうにあらわれるのだろう

男の子と女の子の間には、確かに生まれつきの性差があるということは、お母さんも知っておいた方がよいでしょう。「お姉ちゃんはできたのに、あなたはダメねえ」といったしかり方はくれぐれもしないでください。

一般に、男の子はこり性で、1才代から2才代ですでに何か一つのことを熱中する子がよく出てきま

す。それが自動車であれ、昆虫であれ、怪獣やウルトラマンであれ、何かにこりだしたら、親は子どもが十分に体験できるように手助けしてあげましょう。はさみでチョキチョキ切るのに夢中になったら、「じょうずねえ」とほめて、新聞のチラシなどを使えばいい用意してあげます。虫が好きなら、いっしょに虫をさがしにいたり、図鑑や百科事典などを与えて、その体験や知識を深めてやります。

女の子のほうは、一つのことこるということは比較的少ないようです。むしろ想像力を豊かに発展させながら遊ぶのが好きだし、得意です。ごっこ遊び、見立て遊びなどがじょうずにできるのは、もっばら女の子です。また、お話作りの好きなのもたいい女の子です。

こうした性差を念頭において子育てをすると、たとえば男の子が着がえがへたでおそくても、あまりイライラしなくてすむかもしれませんね。

### 後天的につくられる性差にはこだわる必要はない

こうした生まれつきと思われる性差に対して、周りの大人の対応の違いから生じる後天的なものについては、きにする必要はないと思います。

男の子だからブルーの服、女の子だからピンクの服といった固定観念を植えつけると、どちらの性にとっても自由を失うことになりがちです。思考差は大事にすべきですが、文化的、社会的な性差からは一度自由になったほうがよいと思います。

最近では日本も急速に文化的な性差がなくなってきたのは、歓迎すべきことです。男女差にこだわらず、いろいろな文化になじませてあげたいですね。女の子がサッカーをしてもいいし、男の子が人形遊びをするのも、自然なことと認めてやってほしいのです。

感性についても同じことがいえます。「男の子だからしっかりしなさい」「女の子だからもっとやさしくしてあげなさい」といった育て方をする親がいますが、これはおかしいと思いませんか。しっかりしている、いないは個人差であって、性差ではありません。また、やさしさも男女どちらにもたいせつなことではないでしょうか。

男の子らしくないと最も非難されるのは、すぐ泣くということに対して。「男の子だから泣いたらおかしいよ」という言葉に、どのくらい男の子は傷ついていると思いますか。やさしくて感受性の強い男の子は魅力的だと思いますよ。泣き虫は女の子だけなんて限りません。